

のぞみふくいニューズレター

第21号 (H22. 2月)



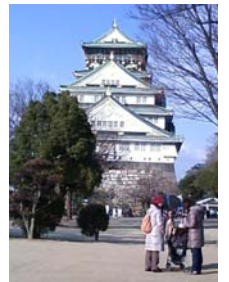
(財) がんの子供を守る会 福井支部 発行
TEL・FAX 0776-22-5132
Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp
本部URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>
支部URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

2月に入りました。3日は節分、厄払いですね。4日は立春で春に向かっていきますが、まだまだ寒さが残ります。どうぞお体大切に、おかせなど召しませんように。(文責：代表幹事。)

アフラックペアレンツハウス大阪を見てきました。



大雪のあとの1月17日(日)天気は晴れ。雪うさぎの会のメンバーで、大阪のアフラックペアレンツハウスへ見学に行きました。雪うさぎの会は子供を亡くした親の会です。少し時間がたつて、前向きに何かやってみたいと思える人たちで行きました。大阪のペアレンツハウスは、守る会自身が運営しています。場所は、中央区の船場という昔からの繊維の間屋街にあります。日曜だったので、すべてお休みでしたが、地下鉄の本町、堺筋本町から徒歩5分



あり、交通の便もよく、大阪の中心部なので、各地区の医療機関へも便利がいいところにあります。1階にある守る会事務局の樋口ソーシャルワーカーさんに案内してもらいました。3棟目だけあり、すべての施設も最新で、バリアフリーで、合理的に作られていました。とてもきれいで、落ち着いた構造でした。闘病中の子供さんも、付き添いで訪れている家族の方もゆっくり休めると思います。患児は無料。家族の宿泊が一人1000円であることも、うれしいことです。



←外には、守る会の支援自販機がありました。(飲料を買うとその売上げの一部が、守る会に寄付されます。)

訪れた雪うさぎのメンバーの感想。「私たちの子供が闘病中に、こんな施設があることがわかれば、大阪にセカンドオピニオンを受けに来たり、最新医療を受けに来たりしたかもしれない。もしかすると、亡くならなかったのかもしれない。」と、少し寂しい気持ちにもなりましたが、とてもいろんなことに感心した見学会でした。福井県民にとって、大阪は列車1本でいけるし、車でも2時間でいけるところにあるので、施設を利用しやすい条件にあります。もっと小児がんのこと、施設のことを県民に知っていただくために努力しなければと思いました。といっても地元を離れて治療するには、それぞれいろんな状況があり、相当の準備と、覚悟がいるものです。そして、なにより望むことは、**地方でも都会と同等の医療を同等の環境で受けられるようになれば**ということです。



2月の活動予定・小児がん関連イベント予定 (予期なく変更されることがあります。)

- 2月 6日(土) 福井支部 定例会(経験者の会「いこっさ」/お話タイム/ちょきちょききつず)
- 2月 13日(土) 小児がんゴールドリボンキャンペーン JAPAN2010・・・東京臨海副都心 タイム24ビルにて
- 2月 13日(土) 小児がんと闘う子供たちのために~神経芽細胞腫の治療研究と日本の小児がん医療のこれから~ 一般向け研究発表会・・・東京都世田谷区 国立成育医療センター研究所 セミナー室にて
- 2月 17日(水) 福井県難病支援センター事業 小児がん対象医療・教育相談&ピアカウンセリング
・・・福井大学医学部付属病院研修センター会議室にて